

だれにも当てはまる日常のできごとを人間味のある、

あるがままの目でユーモラスに綴るCL diary #52

むーらん



7月22日（水）

今日は私の課が主催する、弁護士さんを講師に迎える研修会の日。講師と出席者の前で、私が司会進行をすることになっている。話すことはみんな紙に書いてあるし、練習もしたのだから大丈夫、と思っても、やっぱり緊張はするもの。でも、今までの経験からすると、だいたい取り越し苦労に終わるようだ。そして今日も、終わってみれば、こうすればよかったと思う、細かいことはいろいろあるけれど、だいたいはうまくいったと思う。

7月25日（土）

大阪でコンサートがあり、夜遅くなるので、昨夜は泊まった。そして今日は、以前にテレビのニュースで見た、新しくできた本屋さんへ行ってみた。大阪に行くことがあったら、一度寄ってみたいと思っていたところ。行ってみると本当に広い本屋さんで、本の並べ方は昔からある本屋さんとはかなり違う。一周するだけでとても楽しかった。やはり行動するといいいことがあるみたい。

8月6日（木）

私は階段を下りることが苦手。電車を降りたところ、駅のホームで、以前職場で一緒だった人に会った。彼女は「どうですか？今の職場は…」などと話しかけてくれた。ちゃんと返事をしないとイケないのに、もうすぐ階段があるから、階段の手すりがある端っこに行きたい、と私はそのことばかり考えている。せっかく親しく話しかけてもらっているのにうわの空なんて。

8月8日（土）

ハンバーガーのセットを買って実家へ。さあ、食べようと思ったら、母がコーヒーカップを倒してしまい、たちまちじゅうたんがコーヒー色に…。母が「どうしたらいい？」こういう時って頭が真っ白になるのだけれど、私にも経験がある。でも、なすべきことはひとつ、拭くことだけ。

8月26日（水）

立体駐車場に自動車を入れて、部屋に戻った。なんとなく鞆を確かめたら、部屋の鍵はあるけれど駐車場の鍵がない？あれ、いつもここに入れるのに…ひょっとして。あわてて駐車場に戻ったら、やっぱり鍵が操作盤にささったままだった。鍵をさして、ボタンを押して、自動車を入れて…と、いつも決まった動きだから、ほとんど注意を傾けることなくしていたことに気付く。

9月12日（土）

私はどんな靴を履いてもすぐ足が痛くなって、なかなか合う靴がない。でもこの前あるスーパーで買った靴がとても調子がよい。履いていてもほとんど痛くならない。今日そのスーパーに来たので、同じ靴をもう一足買うか迷ったが、こんなに合う靴には二度と出会えないかもと思って、思い切って買うことにした。

9月17日（木）

今日は税金の窓口で、収納する当番だった。お客様から預かった納付書を、いつもはレジのスキナで読み取るが、今回、持ってこられた納付書は、機械では読めないから、手で入力しないといけない。習ったとおりにやっているつもりなのだが、何回やってもうまくいかない。だんだんあせってきて、いよいよわからなくなり、奥の収納担当の係の人に来てもらいなんとか処理できた。でも、領収書を渡すとき、「待たせすぎよ」と叱られてしまった。ああ、失敗…。後から考えると、わからないと思ったら、すぐに係の人に訊くとか、もっといい方法があったかもしれない。

9月25日（金）

朝、電車に乗ってしばらくすると、ねこを洗濯機に閉じ込めたかもしれない…と急に気になってきた。洗濯機の中で息ができなくなっていたらどうしよう。家を出る前、ちゃんと2匹いたかな…。もうそのことが頭から離れなくなってしまう、途中で反対行きの電車に乗り換え、引き返してしまった。家に戻ると洗濯機の中にねこはおらず、ほんとと安心。（滋賀県滋賀郡CLインストラクター）

 [目次へ戻る](#)